

圏域の役割	基本目標			参考 2020年 (R2)	ビジョン1年目 2021年 (R3)	ビジョン2年目 2022年 (R4)	備考
	指標	基準値 (調査年)	目標値 2025年(R7)				
ア 圏域全体の経済成長のけん引	(1) 製造品出荷額等	1兆5,658億円 (2018年)	1兆6,000億円	1兆3,846億円	1兆5,694億円	(公表前)	経済産業省「工業統計調査」、 「経済センサス-活動調査」より
	(2) 総所得金額等	5,967億円 (2019年)	6,100億円	6,003億円	6,114億円	6,188億円	富山県「市町村税の状況」より
イ 高次の都市機能の集積・強化	滞在人口率 (滞在人口/定住人口)	0.99倍 ※分母:H27国調 (2019年)	1.02倍	0.99倍 ※分母:H27国調	(参考) 0.98倍 ※分母:H27国調 1.03倍 ※分母:R2国調	(参考) 0.96倍 ※分母:H27国調 1.01倍 ※分母:R2国調	「RESAS」より算出 ※平日14時時点、15歳以上80歳未満
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域人口の社会動態 (転入者数-転出者数)	-509人 (2019年)	±0人 ※移動均衡	-1,047人	-1,466人	±0人	各市の「住民基本台帳」より算出

【2022(R4)年の傾向】

- ・「製造品出荷額等」は、基準値程度まで回復した。※2021(R3)年
- ・「総所得金額等」は順調に伸び、最終年度(2025(R7)年)の目標値を超えているが、消費者物価指数(県内103.3、前年度比+3.2%)は、総所得金額の上昇率を上回る。
- ・移住・定住者数が、基準値から大きく伸び、圏域の年間の転出者・転入者が均衡状態となった。